

# 春の全国火災予防運動

◆平成29年度全国統一防火標語 「火の用心 ことばを形に 習慣に」

3月1日(木)から7日(水)までの一週間は「春の全国火災予防運動」です。  
この季節は、空気が大変乾燥し火災の発生しやすい時期となります。火の取り扱いには十分注意し、火災を防ぎましょう。

火の用心



春の全国火災予防運動

## ◆火災件数

全国の火災件数(平成28年確定値・消防庁)は36,831件でした。これは、おおよそ1日当たり101件、約14分ごとに1件の火災が発生したことになります。出火原因としては「放火」が最も多く、続いて「たばこ」「コンロ」...となります。

市内では、平成29年中に22件の火災が発生し、3人の尊い命が奪われました。

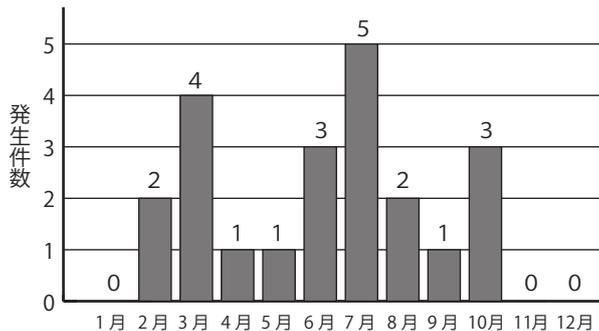
過去10年をみると、全国の火災件数、住宅火災による死者数は、住宅用火災警報器の普及により減少傾向にあります。65歳以上の高齢者の逃げ遅れによる死者数は、ここ10年間に大きな変化はありません。

火災に早く気づき避難するためにも、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置を、既に設置してある家庭は、適切な維持管理をよろしくお願いします。



▲住宅用火災警報器イメージ

平成29年郡上市火災発生状況



## ◆屋外の火災に注意!

これからの時期は、屋外での火の取り扱いによる枯草等の火災が発生する危険性が高くなります。

ちょっとした不注意が原因のものも多く、一人ひとりが火の取り扱いに注意することで防ぐことができます。

- ◆ 空気が乾燥する
- ◆ 風が強い
- ◆ 火を使う機会が多くなる
- ◆ 山菜採りやレジャーでの入山
- ◆ 農作業
- ◆ 枯草の焼却

☑ 屋外での火災を防ぐために次のことに気を付けましょう。  
● 空気が乾燥し、風の強いときは屋外で火を使わない  
● 燃えやすい物の近くで火を使わない  
● その場を離れない

## ◆リチウムイオンバッテリー搭載製品の火災に注意!

スマートフォン、ノートパソコン、モバイルバッテリーの普及により、スマートフォンをポケットに入れていた状態で転倒し出火した、リュックの中でモバイルバッテリーからスマートフォンを充電中に着火したなど、身近なところでリチウムイオンバッテリーに関連する火災事故が発生しています。

### 原因・対処法について

- ◆ 《設計・製造などに問題がある》
- ◆ リコール情報を確認する
- ◆ 《使用方法、管理が悪い》
- ◆ 禁止されている機器の分解はしない
- ◆ 衝撃を受け異常や変形のある機器は使用しない
- ◆ ペットなどが噛みつかないような場所に置く

☎ 問 消防本部  
67・0119

## 全国山火事予防運動

(3月1日から3月7日まで)

### 山火事予防統一標語

～ 小さな火 大きな森を 破壊する ～

これからの季節は林野、枯草火災等が発生しやすい気象状況となります。また、一度林野火災が発生すると被害が大きくなりやすく、貴重な森林を消失させ、その回復には多くの費用と時間がかかります。郡上市の多くを占める森林は、自然環境の保全、土砂災害や洪水被害の防止、木材の供給といった私たちの生活に重要な役割を果たしています。かけがえのない森林を守るため、一人ひとりが火の取り扱いには十分注意して山火事を防ぎましょう。

